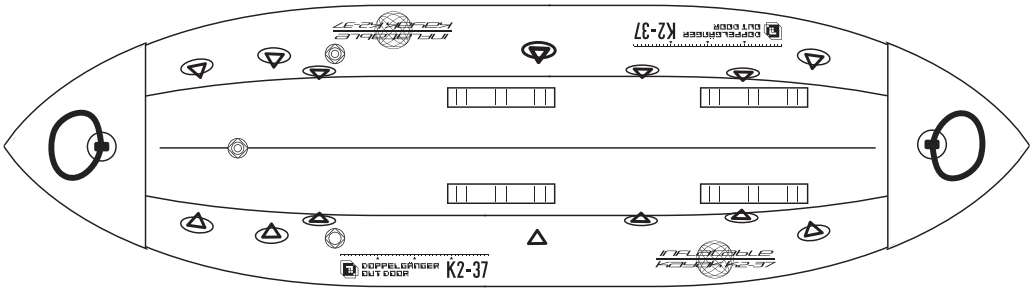
DOPPELGÄNGER
OUT DOOR®

インフレータブルカヤック　取扱説明書

型番：K2-37

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をご使用の際は、必ず本書をお読みいただきご理解の上ご使用いただけますようお願いします。また、お読みいただいた後もこの説明書は大切に保管してください。



商品到着後一週間以内に梱包内容をご確認、組立の上、不具合などが無いかをご確認くださいますよう、お願いいたします。該当期間を過ぎた場合は、製品保証の対象外となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご使用上の注意（ご使用の前に必ずお読みください。）

【警告表示の説明】

⚠ 警告	この表示のあるものは、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示のあるものは、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 警告	
禁止	たばこや火気に近づけないでください。
禁止	高圧ポンプや、自動車の排気ガスを使用して空気を注入しないでください。
禁止	本製品のいずれかの部品に異常が見受けられた場合、また異常を感じた場合はただちに使用を中止してください。
禁止	台風、大雨、強風など危険な状況下でのご使用はお止めください。 河原、海岸の水際、夜間など危険性がある場所で使用しないでください。

⚠ 注意	
強制指示	お子様のみの使用は非常に危険です。常に保護者の監督の下で組み立ての上、ご使用ください。
強制指示	空気の入れすぎは破損の原因になります。外周にシワが少し残るよう空気を入れてください。
強制指示	空気注入の際は必ず付属のポンプを使用してください。本体の各空気室を手で触れて、空気の入り具合を確かめながら注入してください。
強制指示	付属のポンプは、ゆっくり足を踏み下ろして使用してください。過度に強い力や、蹴るように瞬間的に力が加わるような操作をすると、フットポンプが破損する可能性があります。
禁止	付属のポンプは分解、改造しないでください。

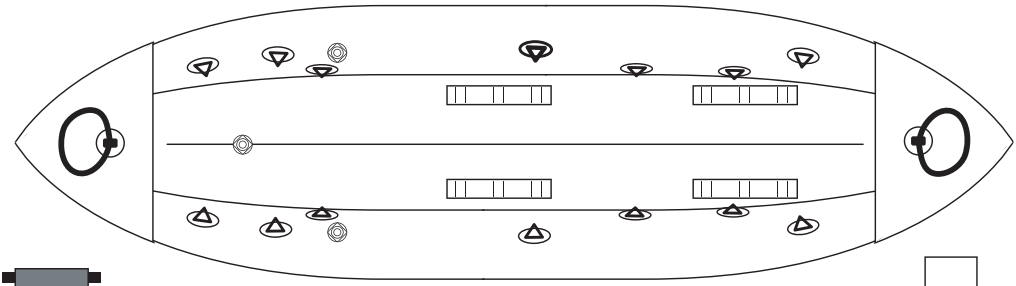
強制指示	本体の空気注入口は栓と弁の二重構造になっていますが、弁は空気の急激な漏れを防ぐ補助弁で、空気を完全に止めるものではありません。必ず栓をしっかり差し込んでご使用ください。
強制指示	本製品は救命具ではありません。遊泳場等の安全な場所で使用してください。
禁止	本製品の乗船定員は２名です。３名以上で使用しないでください。
禁止	釘やくい、砂利、貝殻、ガラス片、金属片、木片等、とがったものとの接触は避けてください。
禁止	泳げない方、アルコールや薬などを飲んで、体調が悪い方は使用しないでください。
禁止	炎天下に置くと空気の膨張により気室内圧が上昇し、本体が柔らかくなる場合がございます。本体の圧力状態には十分ご注意ください。
禁止	パドルの組み立てはジョイント部に奥までしっかり差し込み、各部のネジをしっかりと締め、完全に固定してください。ゆるんだままのご使用は破損の原因となります。
禁止	パドルは本製品の操縦以外の目的で使用しないでください。
禁止	安全のため、ライフベスト等救命具を着用の上ご使用ください。
禁止	本製品を次のような場所で保管しないでください。 ・ 直射日光に当たる場所 ・ 高温になる場所 ・ 急激な温度変化のある場所（結露しそうな場所） ・ 湿度が高い場所。海辺など塩気の多い場所 ・ ホコリが多い場所
強制指示	本製品を廃棄の際は各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

※その他

使用状況、保管状況により空気注入口バルブとカバーの位置がずれる場合があります。
その場合、カヤックの空気を完全に抜き、船首・船尾付近にある２箇所のジッパーを開け、前後から気室（白いチューブ）を交互に引っ張り修正してください。

各部の名称及び、付属品

カヤック本体×１



フットレスト×2

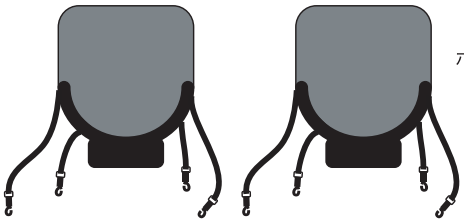
取扱説明書×1

フットポンプ×1

ポールジョイント部×4

フィン×２

リペアキット×１



ポケット付シート×2

ポール×6

パドル先端部×4

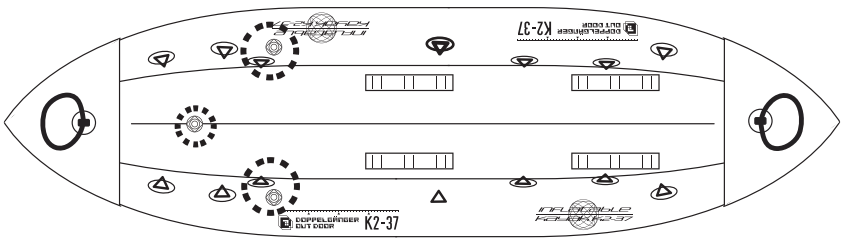
組立方法

1. 付属のフットポンプを使用し、ボート本体に空気を注入します。バルブ本体をしっかりと根本までカヤック本体にねじ込み、その後バルブ上段の栓を開けて空気を注入してください。空気を注入した後は、上段の栓をしっかりと閉めてください。

※空気注入口はボート側面の気室に２カ所、底面の気室に１カ所あります（下図：破線で囲んだ部分）。

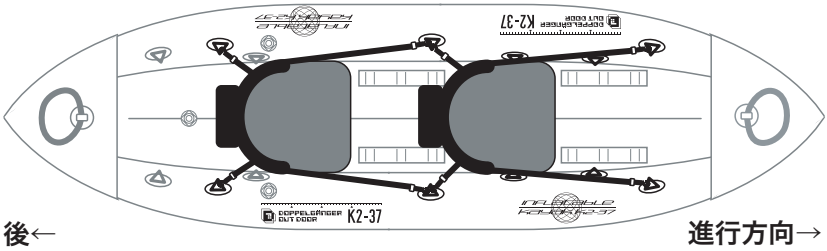
※空気を注入する際は、付属のノズルのうち、空気注入口の形状に合ったノズルをご使用ください。

※本製品の空気注入口には逆流防止弁の付いた空気注入口が使用されています。空気を注入した後は、栓をしっかりと閉めてください。

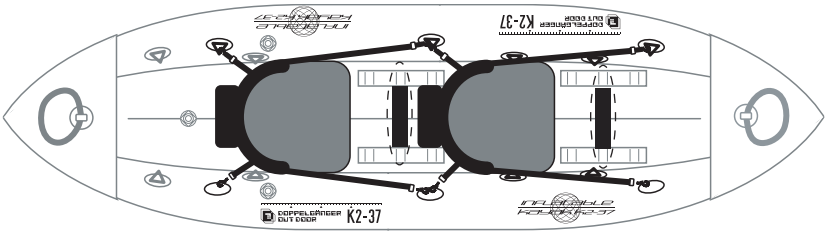


2. シートをカヤックに取り付けます。下図を参考に、それぞれのシートに取り付けられている４本のフック付ベルトを、カヤックのリングへ取り付けてください。ベルトの長さは、バックルにより調整可能です。

※シートは、座ったときに進行方向を向くように取り付けてください。

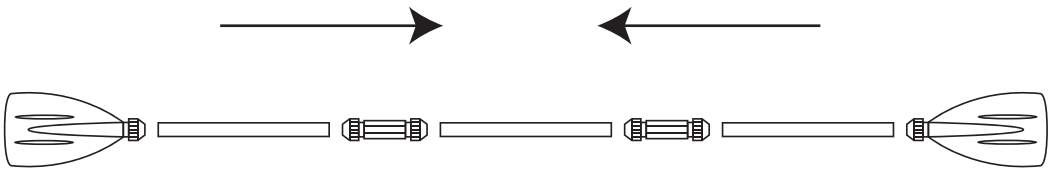


3. フットレストを取り付けます。フットレストはカヤック底面に取り付けられたループへ、片側ずつ差し込むようにして取り付けます。船首側（進行方向側）に短い方、船尾側に長い方を取り付けてください。フットレストの取り付け位置は３段階に調整できるので、シートに座り、膝が伸びきってしまわない（座ったときにある程度膝が曲がった状態になるよう）位置へ取り付けてください。



4. 下図を参考に、それぞれ２本のパドルを組み立てます。ポールはジョイント部、パドル先端部の奥までしっかりと差し込んでください。その後、ジョイント部のねじを時計回りに回し、しっかりと固定してください。

※ポールの差し込みが浅いと、使用した際に水の抵抗によりジョイントが外れ、破損することがあり、大変危険です。



5. カヤックを裏向きにし、前後フィンを取り付けます（下図参照）。

①フィンの後端部の鉤状になった部分を、カヤックのフィン取り付け台（後）へはめ込みます。

②フィンを前方向へずらし、フィン取り付け台 (後) 内部の窪みとフィン後端の鉤状部分とが噛み合ったことを確認した後、下方向へフィンを押し下げます。

③フィンを押し下げ、フィン取り付け台 (前) 内部の窪みとフィン先端の鉤状部分とが噛み合ったことを確認します。

※フィンを取り付けた後は、フィンを前後左右に動かし、フィンがきちんと固定されているかどうか確認してください。

※下図では、左側が前方向となります。

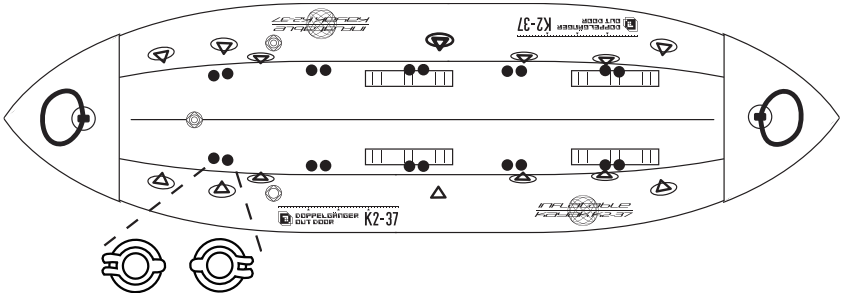
6. 以上で完成です。「ご使用上の注意」「禁止事項」をよくお読みの上、安全にお楽しみください。

セルフベイラーについて

船体底面には、セルフベイラー（水抜き穴）が装備されています。舷側を越えて浸水するようなホワイトウォーター域では、キャップを開けて使用していただきますと、船内に入った水を自動的に排出します。

セルフベイラーを使用すると、水面と同じ高さまで水が入ってきますが、カヤック自体が強い浮力を持っているため、キャップを開けたままでも航行に支障はありません。止水域ではキャップを閉めることもできます。

※セルフベイラーの性質上、強い圧力が加わるとキャップを閉めていても、隙間から船内に少量の水が入る場合がございますが、航行に支障はありません。



リペアキット使用方法

1. リペアキットには、「パッチ」「接着剤」が含まれます。パッチは、修理する箇所に合わせ、適当な大きさに切ってご使用ください。
2. 修理する箇所の水分、油汚れ、埃等を落とします。このとき、表面に予めサンドペーパーをかけておくと接着剤の乗りが良くなります。

※サンドペーパーで強く生地を擦ると、生地の破損や強度低下の原因となりますのでご注意ください。

※表面に油脂等が付着したままだと接着力が非常に弱くなります。生地表面に油脂が付着している時は中性洗剤で表面を洗浄してください。

3. 生地・パッチ両側に接着剤を塗布します。接着剤は補修する面に対し、薄く均一に塗ってください。接着剤を塗布した後、接着剤が乾燥するまで待ちます。
4. 表面に粘りが感じられるまで乾燥した後、生地とパッチを貼りあわせます。このとき、生地とパッチの間に異物を挟まないよう注意してください。
5. 生地とパッチを貼りあわせた後、両側から強く圧着します。生地とパッチとの間に隙間があると再度空気漏れの原因となりますので、確実に圧着を行ってください。